

川島町子ども読書活動推進計画（案）

令和 8 年度～令和 12 年度
（2026 年度～2030 年度）



川島町マスコットキャラクター「かわべえ」「かわみん」

令和 8 年 2 月

川島町教育委員会

はじめに

子どもの読書活動は、「子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものとし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことができないもの」であり、子どもの発達段階に応じた読書活動を推進していくことは大変重要なことです。子どもたちが、1冊の本から言葉や知識を学ぶだけでなく、読書から手に入れた豊かな心を持ち、一生を通じて学び続ける大人になることで、未来を拓く人材が育っていくことにつながります。

このたび川島町教育委員会では、子どもの読書活動を推進するため、「川島町子ども読書活動推進計画」を策定いたしました。

計画の実現のため、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備を推進する必要があります。家庭・地域・学校が一体となり、より多くの子どもの読書活動に関わり、町全体で子どもの読書への関心を高める取組を継続していくことが重要です。

この計画は、令和8年度から令和12年度までの5年間を計画期間とし、川島町の子どもたちの読書活動が充実していくことを目指しています。これまで行ってきた様々な取組を整理し、達成目標を定めることで、読書活動が一層活発になるよう取り組んでまいります。

結びに、この計画の策定にあたり、御審議いただきました川島町図書館協議会の委員の皆様、また、貴重な御意見、御提言をいただきました多くの関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

令和8年2月

川島町教育委員会教育長 関口 敬氏

目次

ページ

第1章	計画策定の趣旨	1
1	計画策定の背景・目的	1
2	計画の性格と位置付け	1
3	計画の対象範囲	1
4	計画の期間	1
第2章	読書の現状と課題	2
第3章	計画の基本方針	16
1	基本方針	16
2	計画の成果目標	16
第4章	読書活動推進のための具体的な取組	19
I	家庭・地域・学校における子どもが読書に親しむ機会の提供と環境の整備・充実	19
1	家庭における子ども読書活動の推進	19
2	地域における子ども読書活動の推進	21
3	学校等における子ども読書活動の推進	26
II	子どもの読書活動の啓発・広報の推進	34
1	「子ども読書の日」を中心とした啓発	34
2	読書活動に係る情報収集・提供	34
資料編		36
1	用語解説	37
2	川島町子どもの読書に関するアンケートの内容	39
3	子どもの読書活動の推進に関する法律	42
4	策定スケジュール	44
5	川島町図書館協議会委員名簿	44

第1章 計画策定の趣旨

1 計画策定の背景・目的

読書は私たちの人生をより豊かにするものです。特に子どもの読書活動は、言葉を学び、読解力をつけるだけでなく、感性や知性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにしていきます。

しかし、近年の子どもを取り巻く環境は大いに変化し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大やスマートフォン・タブレットなどの情報通信機器の急速な普及などが、子どもたちの生活習慣や読書環境に大きく影響を与えているといわれています。スマートフォンとインターネットが日常の一部となり、便利な反面、情報があふれる複雑な社会のなかで言葉の力が生きる力となります。

すべての子どもが読書に親しみ、読書を楽しむための環境をより一層充実させ、子どもの読書活動を推進するため、本町では「川島町子ども読書活動推進計画」を策定しました。

2 計画の性格と位置付け

この計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」（平成13年法律第154号）に基づき策定された、国の「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第五次）」、埼玉県「埼玉県子供読書活動推進計画（第五次）」を踏まえ、本町の子ども読書活動に係る施策を総合的に推進するための指針として策定するものです。

また、「第6次川島町総合振興計画」、「川島町教育大綱」及び「第7次川島町生涯学習推進総合計画」を上位計画とし、その他の関連計画と整合を図りながら進めていくものです。

3 計画の対象範囲

この計画は、おおむね18歳以下の子どもを対象とします。

4 計画の期間

この計画は令和8年度から令和12年度までの5年間とし、計画期間中であっても必要に応じて見直しを行います。

第2章 読書の現状と課題

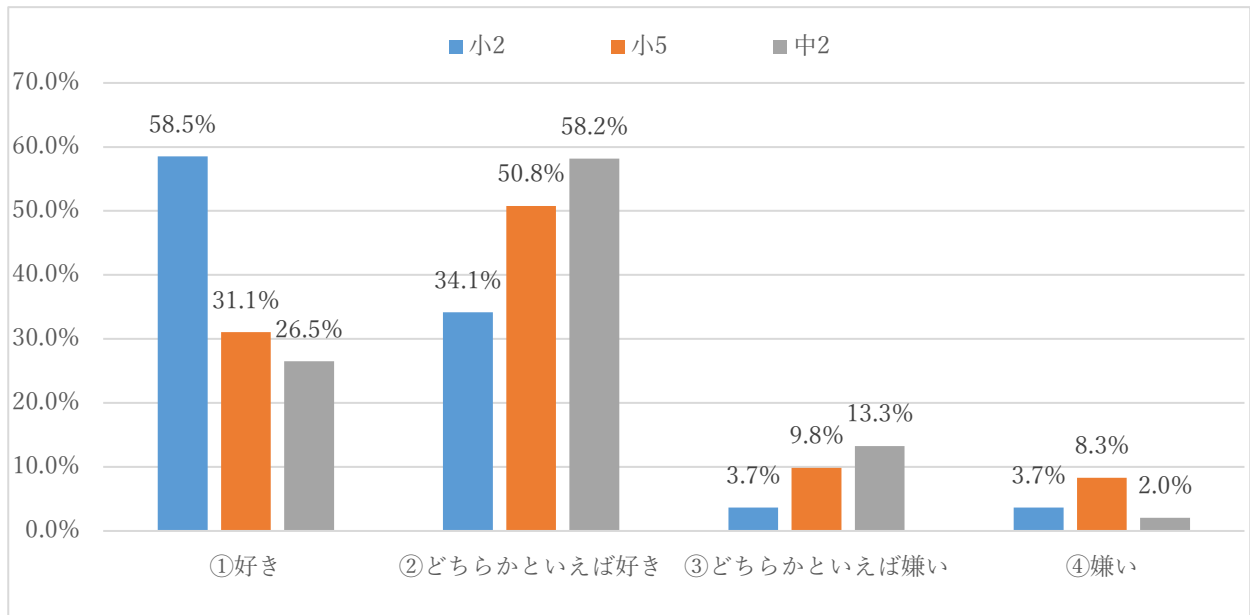
～子どもの読書に関するアンケート調査の結果～

本町では、町内の子どもたちの読書活動の現状を把握するため、令和7年10月に、町立小学校2・5年生、中学校2年生を対象に、「川島町子どもの読書に関するアンケート」を実施しました。結果は次のとおりです。

調査期間	令和7年10月8日（水）～令和7年10月31日（金）
調査対象	町立小学校2・5年生及び中学校2年生
調査方法	LoGoフォーム（自治体向け電子申請システム）による調査
調査回答数	小学校2年生 82人（対象98人中83.6%回答） 小学校5年生 132人（対象142人中92.9%回答） <u>中学校2年生 98人（対象115人中85.2%回答）</u>
合計	312人（対象355人中87.8%回答）

調査結果 割合の端数は、小数点第2位を四捨五入

【質問1】あなたは、本を読むことが好きですか？

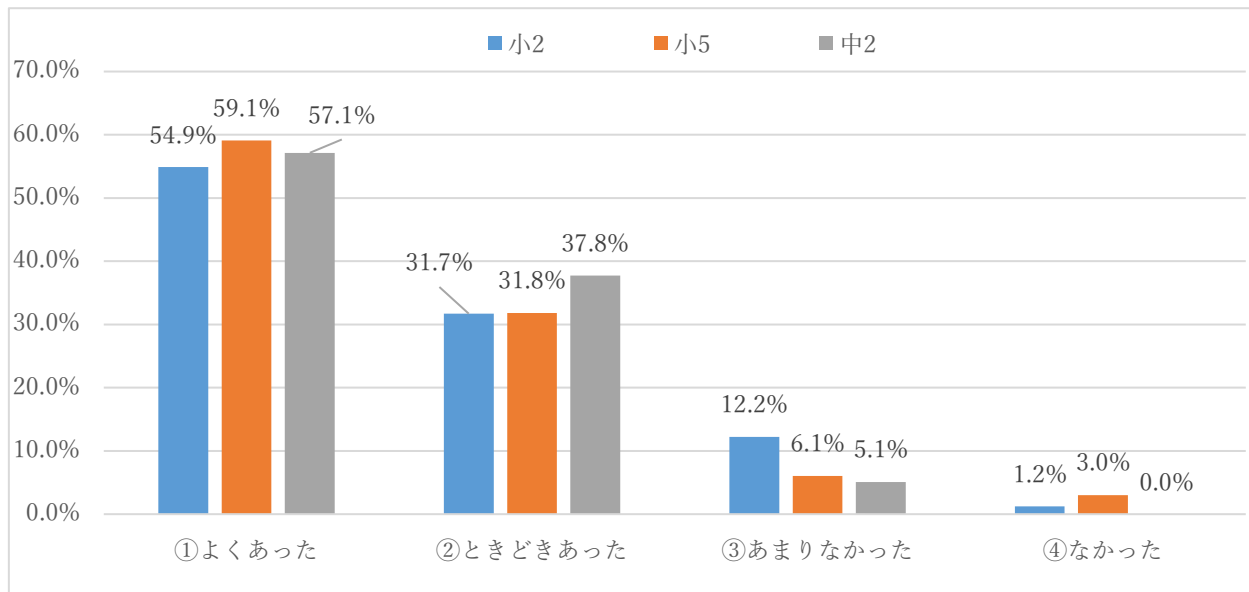


回答	小2		小5		中2		全体	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
①好き	48	58.5	41	31.1	26	26.5	115	36.9
②どちらかといえば好き	28	34.1	67	50.8	57	58.2	152	48.7
③どちらかといえば嫌い	3	3.7	13	9.8	13	13.3	29	9.3
④嫌い	3	3.7	11	8.3	2	2.0	16	5.1

全体の85.6%が「①好き」または「②どちらかといえば好き」と回答しています。

学年別で見ると、小学校2年生は92.6%、小学校5年生は81.9%、中学校2年生は84.7%となり、全学年が「本を読むことが好き」であることがうかがえます。

【質問2】あなたが小さいとき、家の人や保育園、幼稚園の先生などに、本を読んでもらったことがありますか？



回答	小2		小5		中2		全体	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
①よくあった	45	54.9	78	59.1	56	57.1	179	57.4
②ときどきあった	26	31.7	42	31.8	37	37.8	105	33.7
③あまりなかった	10	12.2	8	6.1	5	5.1	23	7.4
④なかった	1	1.2	4	3.0	0	0.0	5	1.6

全体の91.1%が「①よくあった」「②ときどきあった」と回答しています。

学年別でみると小学校2年生は86.6%、小学校5年生は90.9%、中学校2年生は94.9%となります。

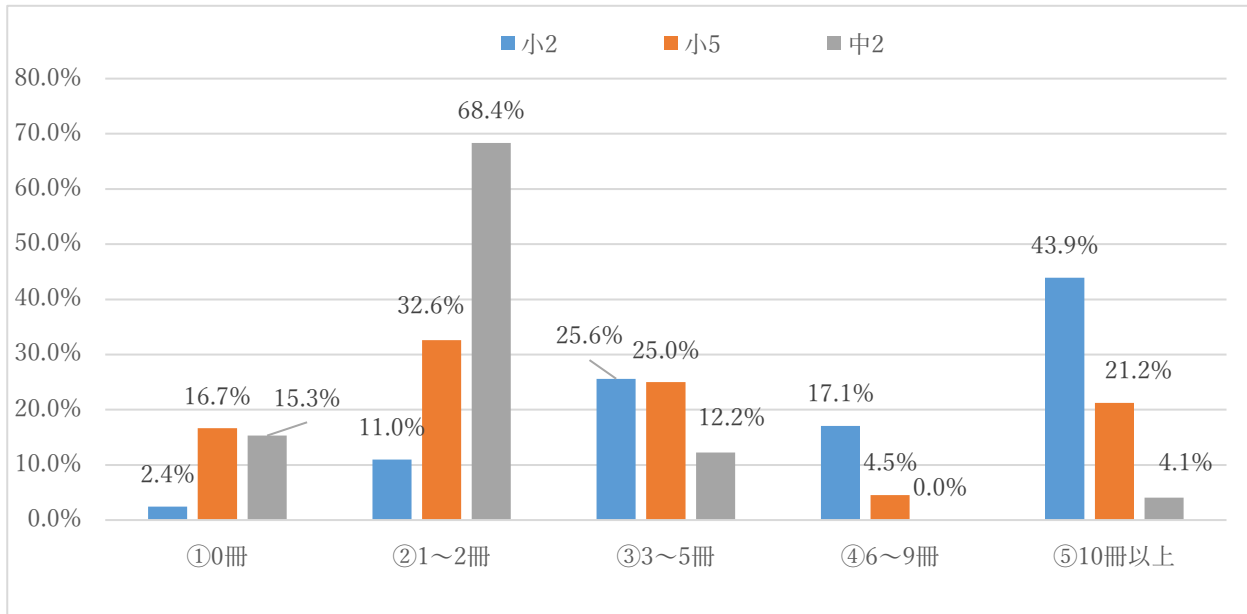
【クロス集計】

小さいときに本を読んでもらったことが「①よくあった」「②ときどきあった」と回答した児童生徒が本を読むことが好きな割合は87.9%で、「③あまりなかった」「④なかった」と回答した児童生徒が本を読むことが好きな割合は65.6%でした。

乳幼児期の読み聞かせ体験が重要であり、発達段階に応じた効果的な取組を推進する必要があります。

【質問3】あなたは、9月に何冊本を読みましたか？

(読みかけの本も1冊に数えます。教科書・マンガ・雑誌は数えません。)



回 答	小2		小5		中2		全 体	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
① 0冊 (質問4へ)	2	2.4	22	16.7	15	15.3	39	12.5
② 1~2冊	9	11.0	43	32.6	67	68.4	119	38.1
③ 3~5冊	21	25.6	33	25.0	12	12.2	66	21.2
④ 6~9冊	14	17.1	6	4.5	0	0.0	20	6.4
⑤ 10冊以上	36	43.9	28	21.2	4	4.1	68	21.8

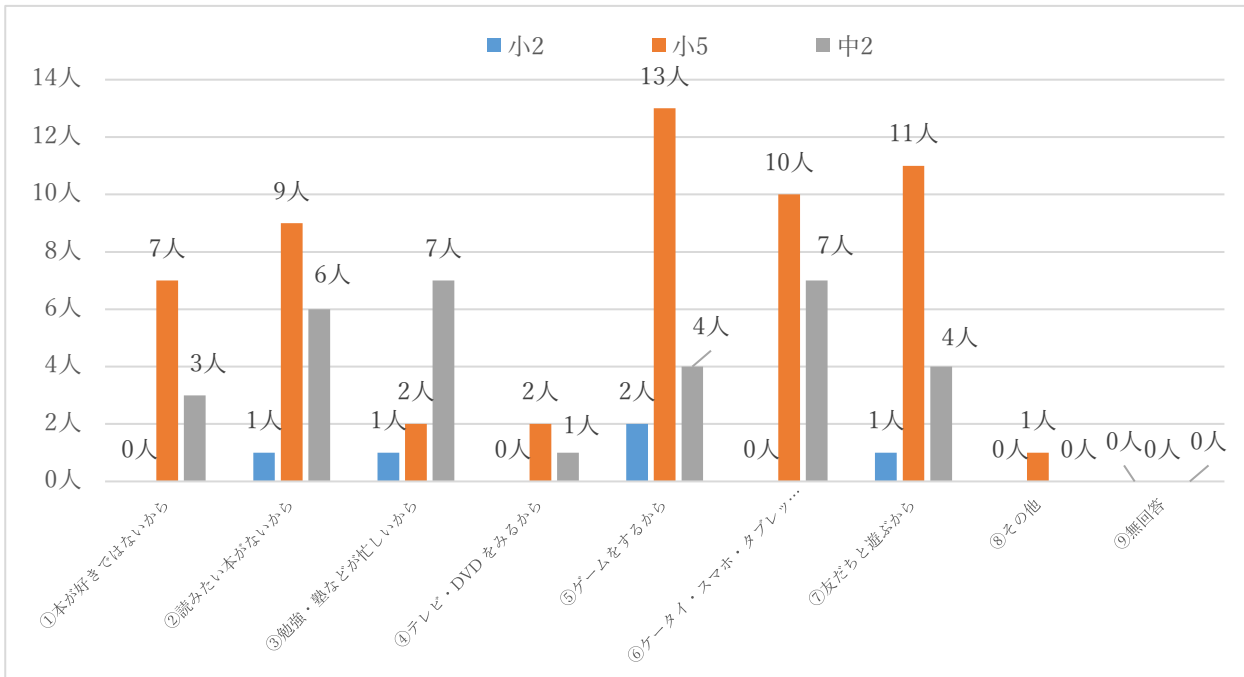
全体として1か月に読む本の冊数は「②1~2冊」が多くなっています。一般的な傾向と同様、学年が上がるにつれて本を読む冊数が減少しています。

「①0冊」の割合は、小学校2年生の2.4%から、小学校5年生は16.7%に大きく増加しています。1か月に1冊も本を読まない児童生徒の割合を減らすことが重要な課題です。

この1か月に1冊も本を読まない児童生徒の割合を「不読率」といい、国、県においても重要な指標と位置付けをしています。

小学校5年生の不読率が高い要因の一つとして、令和元年度から令和3年度に新型コロナウイルス感染拡大による臨時休業等が、子どもの読書活動に影響を与えた可能性もあります。(「子供の読書活動推進に関する有識者会議(文部科学省設置)論点まとめ」(令和4年12月)による)

※【質問4】 質問3で、「①0冊」を選んだ人は、教えてください。読まなかったのはなぜですか？
 (いくつでも) 0冊を選択した39人 (12.5%)



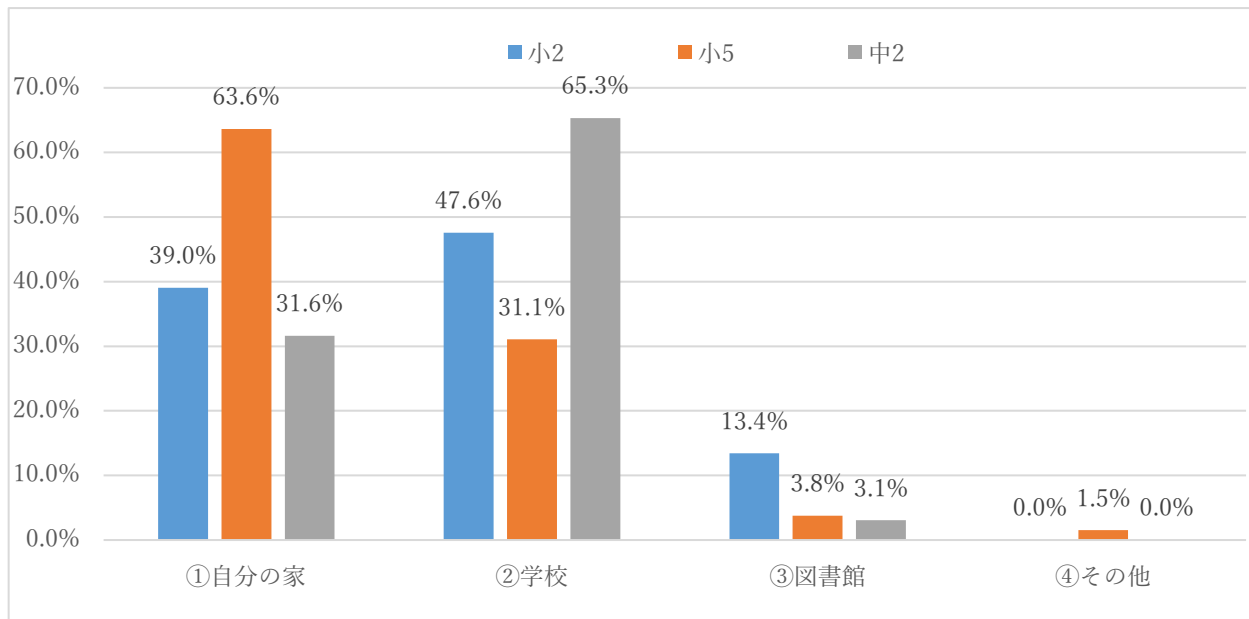
回 答	小2		小5		中2		全 体	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
①本が好きではないから	0	0.0	7	12.7	3	9.4	10	10.9
②読みたい本がないから	1	20.0	9	16.4	6	18.8	16	17.4
③勉強・塾などが忙しいから	1	20.0	2	3.6	7	21.9	10	10.9
④テレビ・DVD をみるから	0	0.0	2	3.6	1	3.1	3	3.3
⑤ゲームをするから	2	40.0	13	23.6	4	12.5	19	20.7
⑥ケータイ・スマホ・タブレット・パソコンをするから	0	0.0	10	18.2	7	21.9	17	18.5
⑦友だちと遊ぶから	1	20.0	11	20.0	4	12.5	16	17.4
⑧その他	0	0.0	1	1.8	0	0.0	1	1.1
⑨無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

全体を見た場合、本を1冊も読まなかった理由の上位3つは「⑤ゲームをするから」20.7%、「⑥ケータイ・スマホ・タブレット・パソコンをするから」18.5%、「②読みたい本がないから」と「⑦友だちと遊ぶから」がともに17.4%となっています。

また、「⑧その他」の記述回答には、「身近に本が少ないから」などがありました。

本を読まない理由として、「⑤ゲームをするから」、「⑥ケータイ・スマホ・タブレット・パソコンをするから」が多いことから、各家庭において「ゲームやスマホのルールづくり」等の取組が求められます。

【質問5】あなたは、本を読むとき、どこで読むことが多いですか？



回 答	小2		小5		中2		全 体	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
①自分の家	32	39.0	84	63.6	31	31.6	147	47.1
②学校	39	47.6	41	31.1	64	65.3	144	46.2
③図書館	11	13.4	5	3.8	3	3.1	19	6.1
④その他	0	0.0	2	1.5	0	0.0	2	0.6

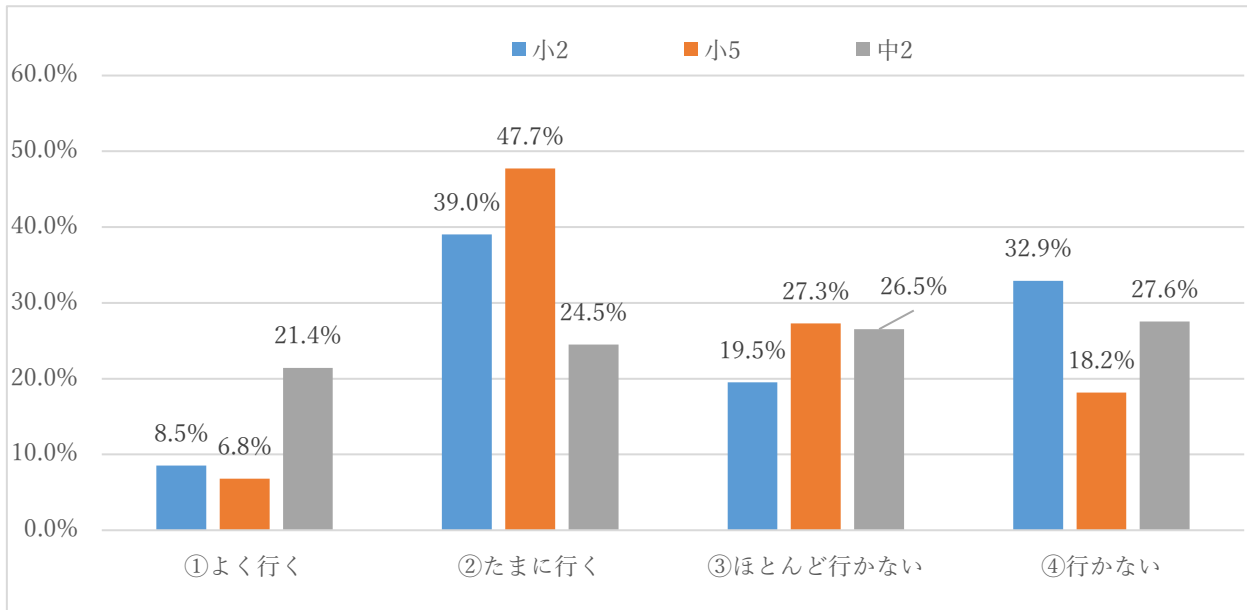
全体では、「①自分の家」47.1%と「②学校」46.2%で、ほぼ同率の結果となりました。

小学校2年生の1位は「②学校」47.6%で、小学校5年生の1位は「①自分の家」63.6%、中学校2年生では1位は「②学校」65.3%となっています。

また、「④その他」の記述回答には、「タブレットでどこでも読む」などがありました。

【質問6】あなたは、学校の図書室に行きますか？

※授業で行くのは入れません。



回答	小2		小5		中2		全体	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
①よく行く	7	8.5	9	6.8	21	21.4	37	11.9
②たまに行く	32	39.0	63	47.7	24	24.5	119	38.1
③ほとんど行かない	16	19.5	36	27.3	26	26.5	78	25.0
④行かない (※質問7へ)	27	32.9	24	18.2	27	27.6	78	25.0

全体では、「①よく行く」「②たまに行く」を合わせた割合は 50%であり、「③ほとんど行かない」「④行かない」も 50%という結果になりました。

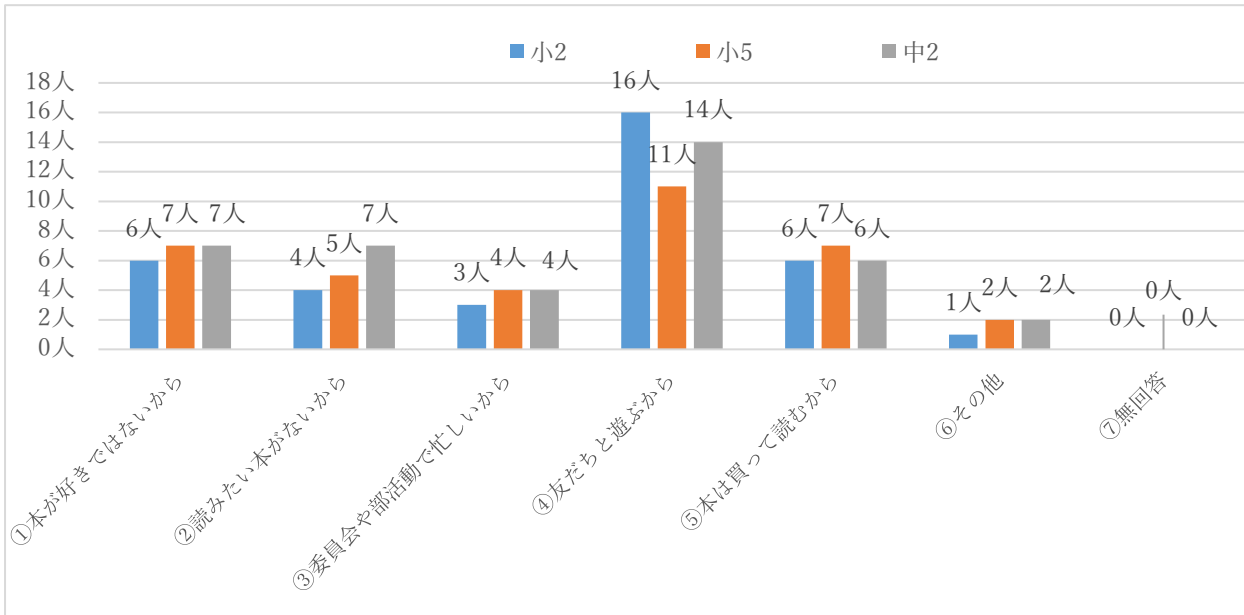
「④行かない」と答えた人は全体で 78 人(25.0%)でした。今後、図書室利用をより促進するための取組が必要です。

【クロス集計】

小さいときに本を読んでもらったことが「①よくあった」「②ときどきあった」と回答した児童生徒が図書室に行く割合は 50.2%で、「③あまりなかった」「④なかった」と回答した児童生徒が図書室に行く割合は 39.5%でした。

小さいときに本を読んでもらったことがある児童生徒の方が、図書室に行く割合が高くなっています。

※【質問7】 質問6で「④行かない」を選んだ人は、教えてください。行かないのはなぜですか？
 (いくつでも) 行かないを選択した78人 (25.0%)



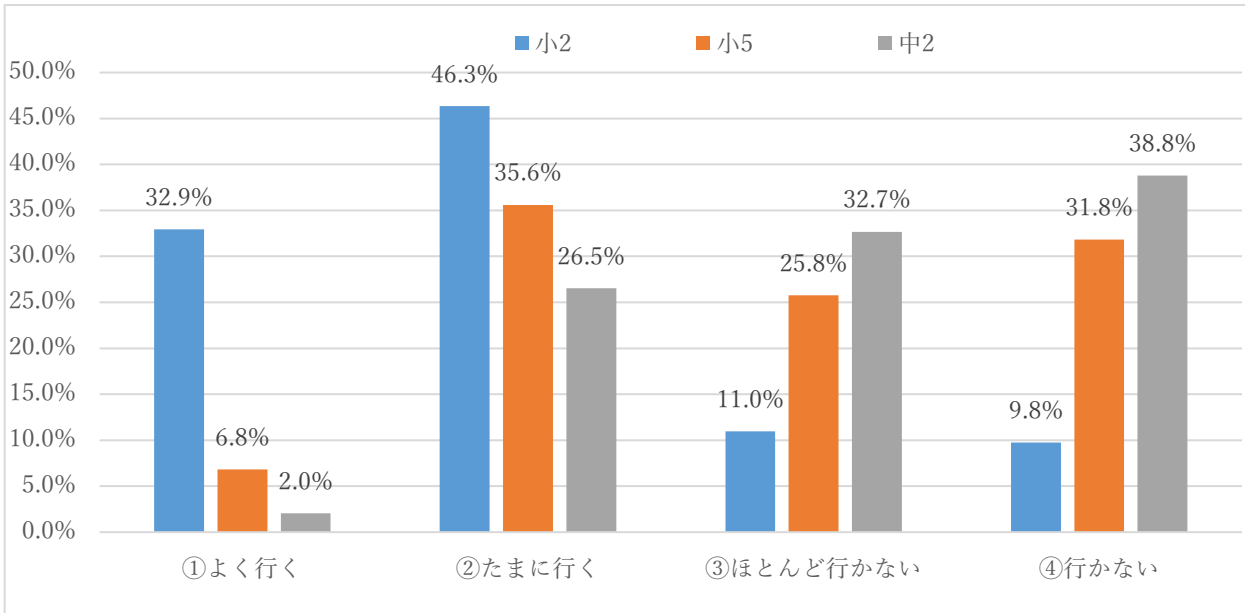
回 答	小 2		小 5		中 2		全 体	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
①本が好きではないから	6	16.7	7	19.4	7	17.5	20	17.9
②読みたい本がないから	4	11.1	5	13.9	7	17.5	16	14.3
③委員会や部活動で忙しいから	3	8.3	4	11.1	4	10.0	11	9.8
④友だちと遊ぶから	16	44.4	11	30.6	14	35.0	41	36.6
⑤本は買って読むから	6	16.7	7	19.4	6	15.0	19	17.0
⑥その他	1	2.8	2	5.6	2	5.0	5	4.5
⑦無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

全学年、行かない理由の1位は「④友だちと遊ぶから」36.6%でした。

また、「⑥その他」の記述回答には「外で遊びたいから」、「タブレットがあるから」、「図書室に行くのが面倒くさいから」などがありました。

【質問8】あなたは、町の図書館に行きますか？

※授業で行くのは入れません。



回答	小2		小5		中2		全体	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
①よく行く	27	32.9	9	6.8	2	2.0	38	12.2
②たまに行く	38	46.3	47	35.6	26	26.5	111	35.6
③ほとんど行かない	9	11.0	34	25.8	32	32.7	75	24.0
④行かない (※質問9へ)	8	9.8	42	31.8	38	38.8	88	28.2

全体では「①よく行く」「②たまに行く」を合わせた割合は47.8%、「③ほとんど行かない」「④行かない」は52.2%でした。

また、学年が上がるにつれて、町の図書館の利用が減少する傾向にあります。

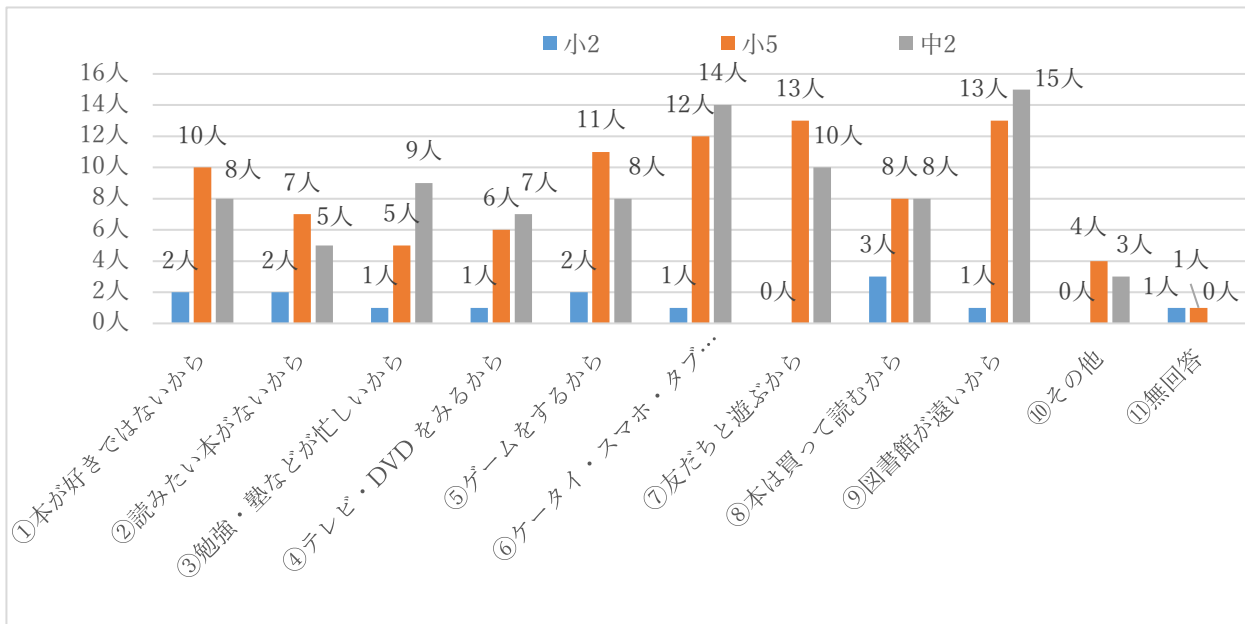
「④行かない」と答えた人は全体で 88 人(28.2%)でした。こちらも学年が上がるにつれて町の図書館に行かなくなる傾向があり、課題となっています。

【クロス集計】

小さいときに本を読んでもらったことが「①よくあった」「②ときどきあった」と回答した児童生徒が図書館に行く割合は 52.7%で、「③あまりなかった」「④なかった」と回答した児童生徒が図書館に行く割合は 31.2%でした。

小さいときに本を読んでもらったことがある児童生徒の方が、図書館に行く割合が高くなっています。

※【質問9】 質問8で「④行かない」を選んだ人は、教えてください。行かないのはなぜですか？
 (いくつでも) 行かないを選択した88人 (28.2%)

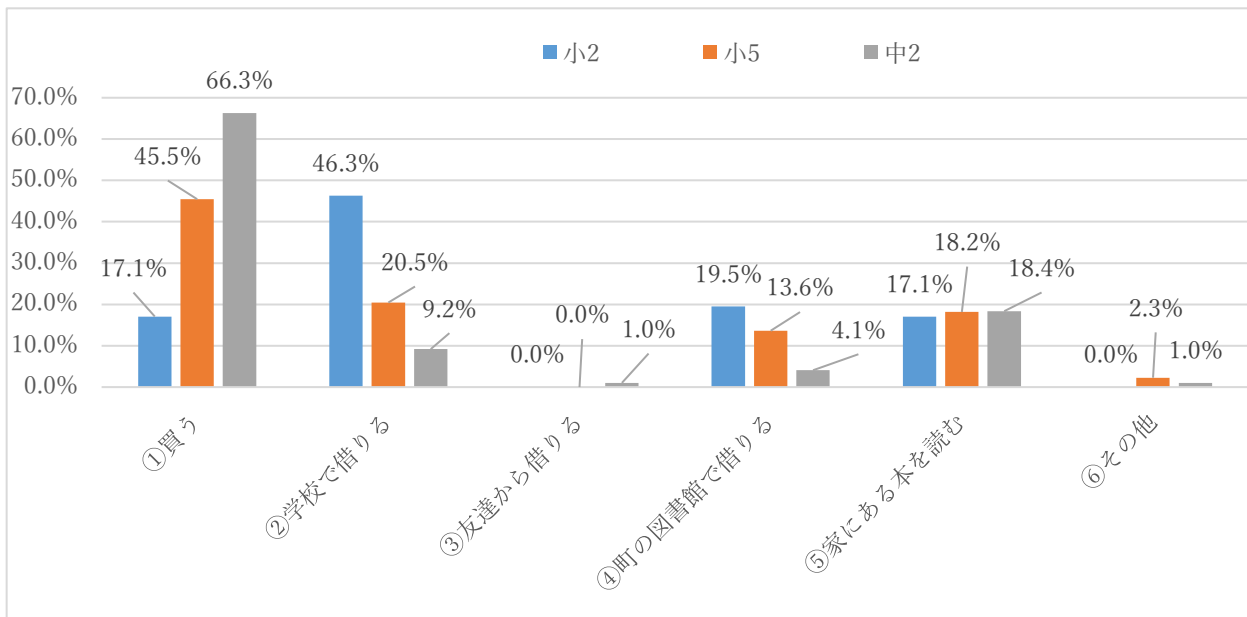


回答	小2		小5		中2		全体	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
①本が好きではないから	2	14.3	10	11.1	8	9.2	20	10.5
②読みたい本がないから	2	14.3	7	7.8	5	5.7	14	7.3
③勉強・塾などが忙しいから	1	7.1	5	5.6	9	10.3	15	7.9
④テレビ・DVD をみるから	1	7.1	6	6.7	7	8.0	14	7.3
⑤ゲームをするから	2	14.3	11	12.2	8	9.2	21	11.0
⑥ケータイ・スマホ・タブレット・パソコンをするから	1	7.1	12	13.3	14	16.1	27	14.1
⑦友だちと遊ぶから	0	0.0	13	14.4	10	11.5	23	12.0
⑧本は買って読むから	3	21.4	8	8.9	8	9.2	19	9.9
⑨図書館が遠いから	1	7.1	13	14.4	15	17.2	29	15.2
⑩その他	0	0.0	4	4.4	3	3.4	7	3.7
⑪無回答	1	7.1	1	1.1	0	0.0	2	1.0

町の図書館に行かない理由の1位は「⑨図書館が遠いから」15.2%でした。次いで「⑥ケータイ・スマホ・タブレット・パソコンをするから」14.1%、「⑦友だちと遊ぶから」が12.0%でした。

また、「⑩その他」の記述回答には、「習い事があるから」「図書館に行くのが面倒くさいから」などがありました。

【質問10】あなたは、本を読むとき、その本をどのようにして手に入れますか？



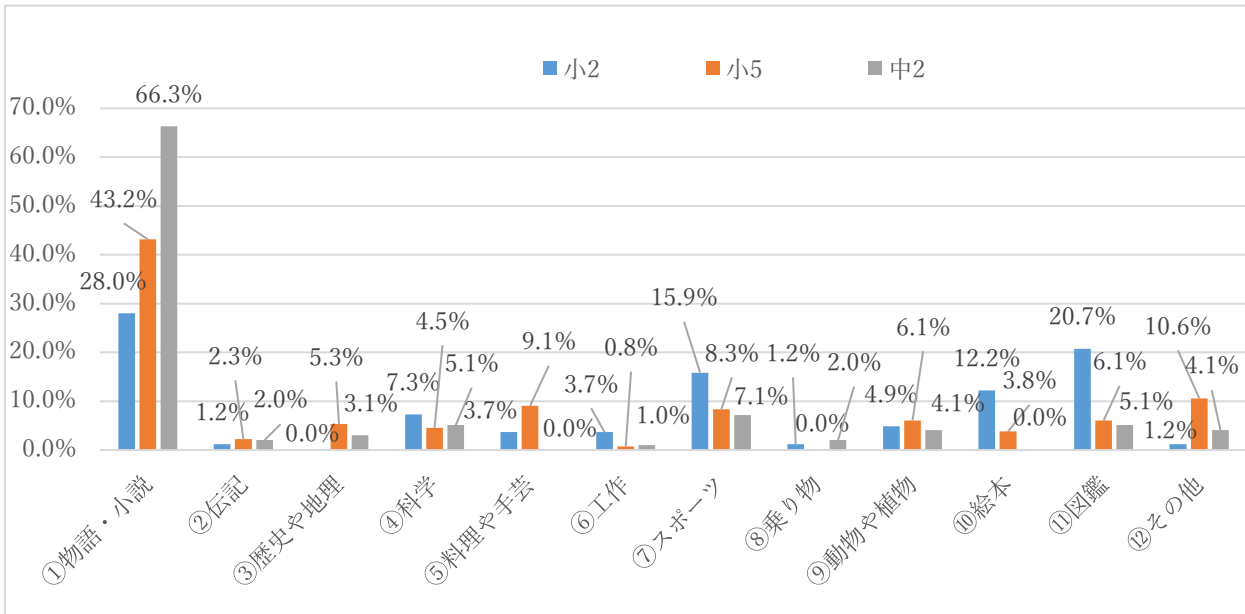
回 答	小2		小5		中2		全 体	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
①買う	14	17.1	60	45.5	65	66.3	139	44.6
②学校で借りる	38	46.3	27	20.5	9	9.2	74	23.7
③友達から借りる	0	0.0	0	0.0	1	1.0	1	0.3
④町の図書館で借りる	16	19.5	18	13.6	4	4.1	38	12.2
⑤家にある本を読む	14	17.1	24	18.2	18	18.4	56	17.9
⑥その他	0	0.0	3	2.3	1	1.0	4	1.3

全体として「①買う」44.6%が最も多く、次に「②学校で借りる」23.7%、「⑤家にある本を読む」17.9%となっています。

「⑥その他」の記述回答では「タブレットで読む」などがありました。

子どもたちの図書館利用を促進するため、より積極的な取組が必要です。

【質問11】あなたは、どんな本を読んでいますか？一番よく読む本を1つ選んでください。

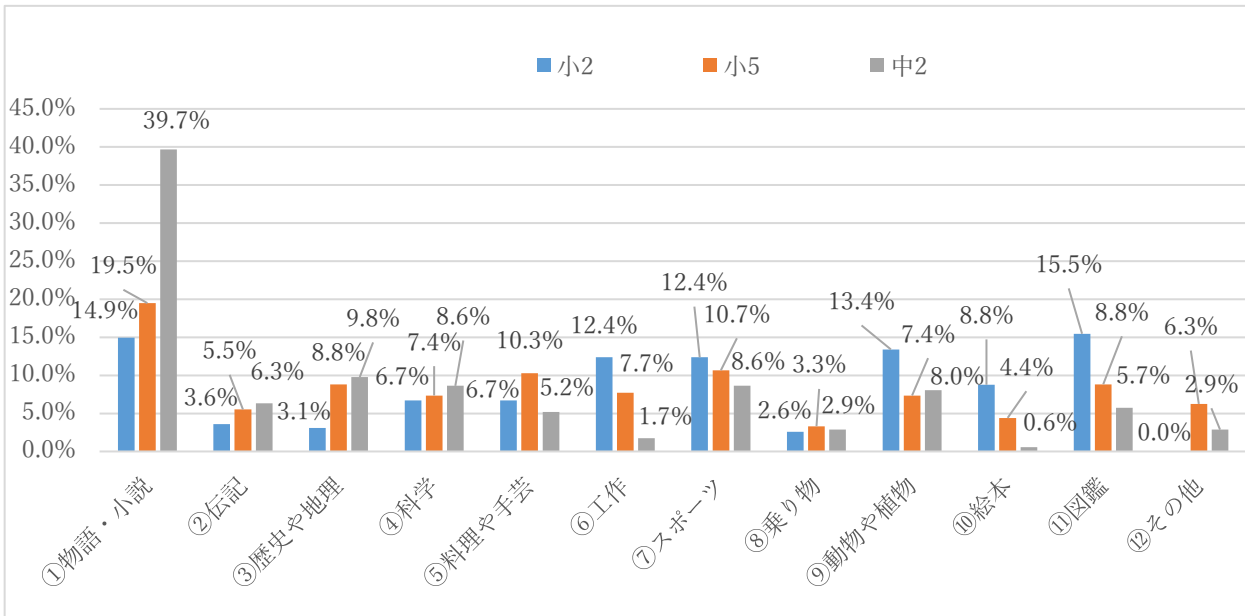


回答	小2		小5		中2		全体	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
①物語・小説	23	28.0	57	43.2	65	66.3	145	46.5
②伝記	1	1.2	3	2.3	2	2.0	6	1.9
③歴史や地理	0	0.0	7	5.3	3	3.1	10	3.2
④科学	6	7.3	6	4.5	5	5.1	17	5.4
⑤料理や手芸	3	3.7	12	9.1	0	0.0	15	4.8
⑥工作	3	3.7	1	0.8	1	1.0	5	1.6
⑦スポーツ	13	15.9	11	8.3	7	7.1	31	9.9
⑧乗り物	1	1.2	0	0.0	2	2.0	3	1.0
⑨動物や植物	4	4.9	8	6.1	4	4.1	16	5.1
⑩絵本	10	12.2	5	3.8	0	0.0	15	4.8
⑪図鑑	17	20.7	8	6.1	5	5.1	30	9.6
⑫その他	1	1.2	14	10.6	4	4.1	19	6.1

全体として「①物語・小説」46.5%が最も多く、次に「⑦スポーツ」9.9%、その次が「⑪図鑑」9.6%となっています。

「⑥その他」の記述回答では「漫画」などがありました。

【質問12】あなたは、これからどんな本を読みたいですか？（いくつでも）

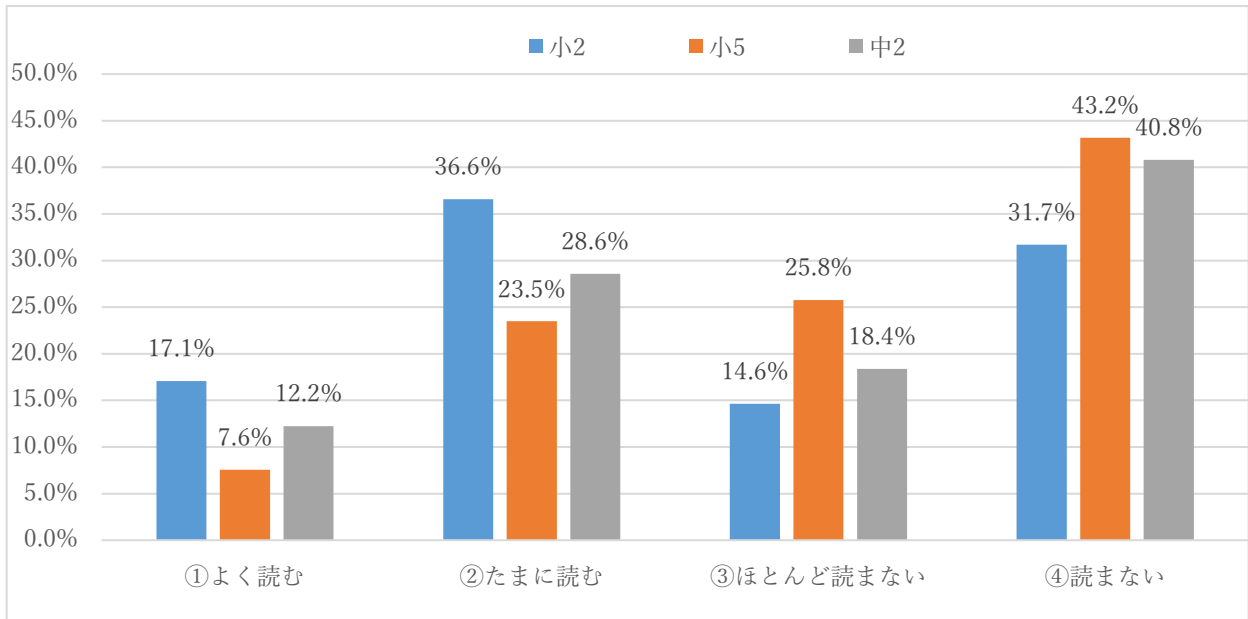


回答	小2		小5		中2		全体	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
①物語・小説	29	14.9	53	19.5	69	39.7	151	23.6
②伝記	7	3.6	15	5.5	11	6.3	33	5.2
③歴史や地理	6	3.1	24	8.8	17	9.8	47	7.3
④科学	13	6.7	20	7.4	15	8.6	48	7.5
⑤料理や手芸	13	6.7	28	10.3	9	5.2	50	7.8
⑥工作	24	12.4	21	7.7	3	1.7	48	7.5
⑦スポーツ	24	12.4	29	10.7	15	8.6	68	10.6
⑧乗り物	5	2.6	9	3.3	5	2.9	19	3.0
⑨動物や植物	26	13.4	20	7.4	14	8.0	60	9.4
⑩絵本	17	8.8	12	4.4	1	0.6	30	4.7
⑪図鑑	30	15.5	24	8.8	10	5.7	64	10.0
⑫その他	0	0.0	17	6.3	5	2.9	22	3.4

「①物語・小説」23.6%が最も多く、次に「⑦スポーツ」10.6%、その次が「⑪図鑑」10.0%となっています。「⑥その他」の記述回答では「漫画」などがありました。

また、質問11の一番よく読む本の回答と同様の傾向となりました。

【質問 13】あなたは、電子書籍（パソコンやタブレット、スマホを使う読書）を読んでいますか？



回答	小2		小5		中2		全体	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
①よく読む	14	17.1	10	7.6	12	12.2	36	11.5
②たまに読む	30	36.6	31	23.5	28	28.6	89	28.5
③ほとんど読まない	12	14.6	34	25.8	18	18.4	64	20.5
④読まない	26	31.7	57	43.2	40	40.8	123	39.4

全体では「①よく読む」「②たまに読む」を合わせた割合は40.0%、「③ほとんど読まない」「④読まない」は59.9%でした。

また、「④読まない」と答えた人は全体で123人(39.4%)でした。

比企広域電子図書館「比企 e ライブラリ」^{*14}のコンテンツの充実について、検討が必要です。

第3章 計画の基本方針

1 基本方針

「川島町子ども読書活動推進計画」では、次の2つを基本方針として、子どもの読書活動の推進を目指します。

- ① 家庭・地域・学校における子どもが読書に親しむ機会の提供と環境の整備
- ② 子どもの読書活動の啓発・広報の推進

2 計画の成果目標

計画の推進にあたり、次の3項目を5年後の目標に掲げ、継続的に進捗状況を把握し、達成度を確認していきます。

① 本を読まない子どもを減らします

1か月間の読書冊数が0冊の子どもの割合（不読率）

	現況値（令和7年度）	目標値（令和12年度）
小学校2年生	2.4%	2.0%以下
小学校5年生	16.7%	15.0%以下
中学校2年生	15.3%	14.0%以下

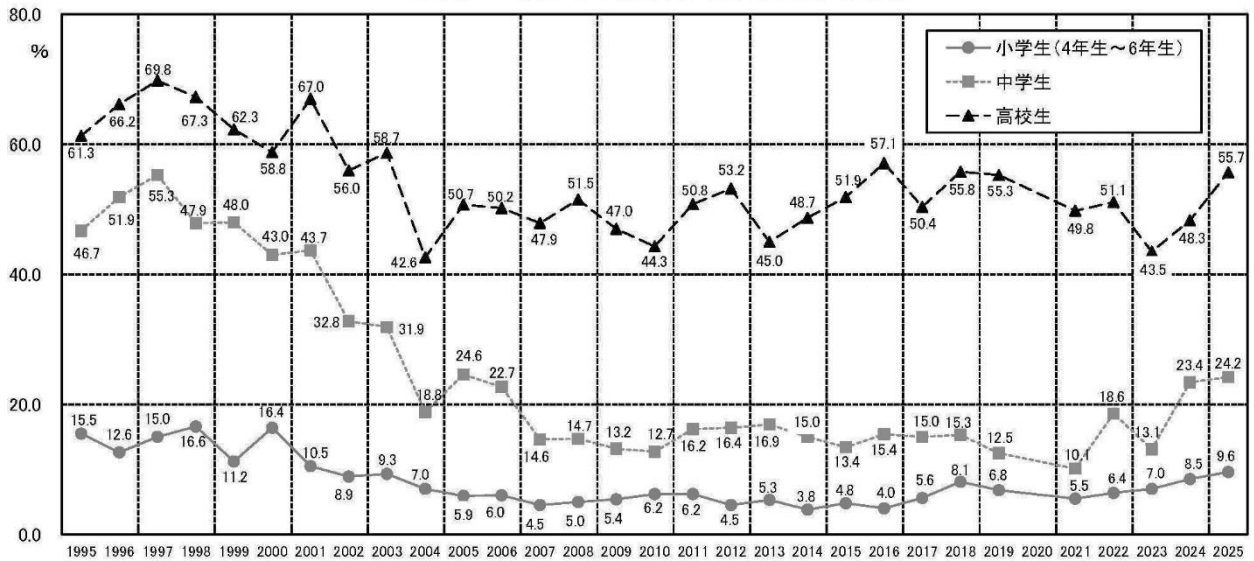
※ 資料：川島町子どもの読書に関するアンケート

〈参考〉

○公益社団法人全国学校図書館協議会の学校読書調査

令和7年6月に実施された調査によると、全国で1か月間に1冊も本を読まなかった子どもの割合は、小学4～6年生9.6%、中学1～3年生24.2%、高校1～3年生55.7%となっています。

過去31年分の不読者(0冊回答者)の推移



○埼玉県学力・学習状況調査

令和7年4月23日から5月21日に実施された調査によると、県内で1か月間に1冊も本を読まなかった児童生徒の割合は、小学5年生14.8%、中学2年生23.6%となっています。

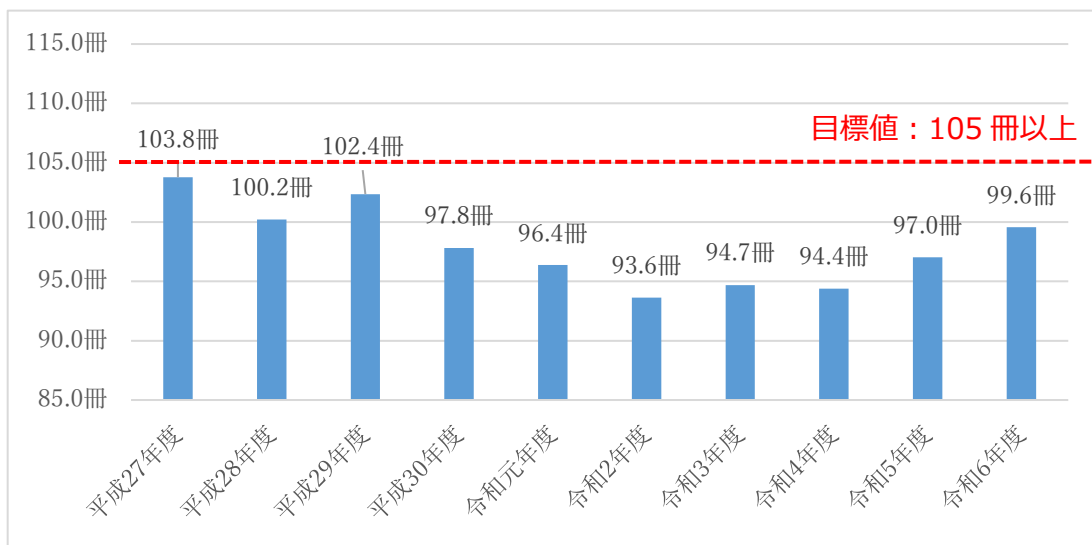
② 町立図書館での児童書の貸出冊数を増やします

町立図書館での児童書の貸出冊数（1日あたり）

	現況値（令和6年度）	目標値（令和12年度）
冊数	99.6冊	105.0冊以上

※ 令和7年度の年間貸出冊数が年度途中で算出できないため、令和6年度の統計を使用

（参考）過去10年間（平成27年度～令和6年度）の児童書の貸出推移（1日あたり）



③ 学校の図書室を利用する子どもを増やします

学校の図書室を「よく利用する」「たまに利用する」と答える子どもの割合を増やします。

	現況値（令和7年度）	目標値（令和12年度）
小学校2年生	47.5%	50.0%以上
小学校5年生	54.5%	60.0%以上
中学校2年生	45.9%	50.0%以上

※ 資料：川島町子どもの読書に関するアンケート

第4章 読書活動推進のための具体的な取組

I 家庭・地域・学校における子どもが読書に親しむ機会の提供と環境の整備・充実

生涯にわたって読書に親しみ、読書を楽しむ習慣を形成するためには、乳幼児から発達段階に応じた読書活動が行われることが重要です。個々の子どもの状況等を考慮した上で、発達段階に応じた効果的な取組を、家庭・地域・学校等が連携し、切れ目のない読書活動を推進します。

1 家庭における子ども読書活動の推進

子どもが本と出会い、本の楽しみを知るためには、家庭の役割が大変重要です。乳幼児期の読み聞かせ体験は、子どもの発達のみならず、親子のふれあいを深めることで、子どもの発達過程で多くの有用性があるといわれています。子どもと一緒に本を読んだり、図書館に出かけたりすることが、その後の子どもの読書習慣の形成に大きな影響をあたえます。

【現状と課題】

「川島町子どもの読書に関するアンケート」において、多くの子どもたちが幼いころに読み聞かせの経験があり、本が好きであることがわかります。しかし、家庭によっては、子育てに読書を取り入れる大切さが充分認識されていないことが懸念されています。子育て世帯にかかわる各機関において、読み聞かせ等の機会を継続するとともに、連携しながら家庭への啓発を行うことが必要です。

【取組】

① ブックスタート^{*16}事業の推進

現在、子育て支援課と協力し、4か月児健診に「ブックスタート」として、赤ちゃんと保護者を対象に、絵本の読み聞かせを行った後、絵本と布製バッグ等をプレゼントしています。絵本を開く楽しい体験とともに、乳幼児期から本にふれる環境づくり、家庭での読み聞かせの習慣づくりを推進します。また、比企広域電子図書館「比企 e ライブラリ」の紹介も行います。

② セカンドブック^{*5}事業の実施

3歳頃は読み聞かせ黄金期といわれています。新たにセカンドブック事業として、3歳児健診時に、図書館で絵本と引き換えができるチケットを配付し、絵本を介して親子で読書に親しむ機会を提供します。また、図書館では、図書館案内やおすすめ本の紹介などを行い、図書館利用のきっかけづくりを推進します。

③ 家庭での読み聞かせ・読書環境づくりの推進

図書館から、おすすめ本リスト等の情報提供や、読書の記録通帳の普及、読み聞かせの重要性等の啓発を行い、乳幼児期から家庭のなかに本があり、家族で本に親しめる環境づくりを進めます。

また、「ノーテレビ・ノーゲームの日^{*12}」を活用し、各家庭でテレビやゲーム、スマートフォンなどの使い方のルールづくりを話し合い、読書時間の確保・家族で読書を楽しむ習慣をつくれるよう啓発していきます。

④ 各種おはなし会・イベントへの積極的な参加の推進

図書館や地域で定期的に行われるおはなし会や講座など、親子が積極的に参加できるよう推進し、子どもが本とふれあう機会を増やします。

講座については、新たに子育て支援として、親子向けの絵本講座や人形劇などを実施し、充実を図ってまいります。

〈参考〉川島町HPより 令和7年度 全国学力・学習状況調査の川島町の結果について（ご家庭での協力依頼）

子ども達の家庭における生活習慣（読書活動、学習時間、スマホ・ゲーム使用時間等）や学習習慣と各教科の平均正答率には相関性が見られました。ご家庭におかれましては、生活習慣や学習環境等に一層目を向け、子ども達と向き合う時間を大切にしてくださいようお願いいたします。



2 地域における子ども読書活動の推進

図書館、子育て支援総合センターなどの施設等で、子どもが読書に親しむ機会を提供していくための事業を推進します。図書館が地域における子どもの読書活動の推進主体となります。

(1) 町立図書館の利用促進

【現状と課題】

地域における子どもの読書活動を推進する上で、図書館は活動の拠点として、絵本や童話、物語、紙しばい、調べ物の本などの資料の選定・収集や、おはなし会などの行事の開催、図書の紹介や団体貸出^{*8}などを行っています。

アンケート結果からわかるように、学年が上がるにつれ図書館の利用が減少し、読書離れが進んでいることから、各年代別サービスを意識したより積極的な取組が必要です。また、町立図書館に児童担当司書を継続配置できるよう努めます。

【取組】

① 資料の充実・環境整備

良質な児童書の選定・収集に努めます。また、蔵書構成を考慮しながら、保護者向けの子育てに関する図書や、団体貸出の資料の中で要望のある紙しばいや大型絵本などの充実を図ります。

また、テーマや季節に沿った図書の展示や、おすすめ本のブックリストの作成、読書意欲向上のための案内表示や展示の工夫などを行います。

さらに、ICT（情報通信技術）を活用した情報発信や手続きの効率化、サービスの充実に努めます。

② ヤングアダルトコーナー^{*19}の設置

活字離れが進み、読書量の減少が顕著な中学生・高校生の利用促進のため、「ヤングアダルトコーナー」を設置し、年代に適した図書の整備を図ります。テストや受験勉強のための学習席を利用する中高生が、「ヤングアダルトコーナー」の設置により、読書につながることを期待します。

③ おはなし会等の開催

対象年齢に応じたおはなし会を定期開催し、読書への興味につなげます。絵本の読み聞かせ、紙しばい、手あそびなどにより、本との出会いの場をつくります。

また、夏休みや読書週間等（10月27日～11月9日）には、趣向を凝らしたおはなし会などを開催します。

④ 子ども向けイベントの充実

対象年齢に応じたイベントとして、「としょかん読書マラソン^{*11}」や「中高生 POP コンテスト^{*10}」を引き続き実施します。また、全国訪問おはなし隊^{*6}の受入や、新たに人形劇や工作教室、「子ども1日図書館員^{*3}」などを開催し、町内の子どもたちに、図書館へ足を運んでもらい、本の楽しさを知る機会を提供します。

なお、「夏休み宿題サポート」や「読書感想文の書き方教室」は、開催方法を変更し、実施します。

⑤ 「読書の記録通帳」の推進

子どもから大人まで、図書館で借りた本を通帳に記帳することで、自分の読書の記録が容易にでき、読書意欲の増大につながっています。また、読書週間期間中には、3歳から高校生を対象に、図書館の本を1度に5冊以上借りて、読書の記録通帳に記録したらカプセルトイを1回まわせるイベントを開催します。

⑥ ボランティアとの連携・協力

読み聞かせボランティアと連携・協力して、子どもたちの読書への興味づくりや、図書館への来館を促進します。また、「ブックスタート」や「地域子ども教室^{*9}」などに出向き、おすすめ本の紹介、図書館の紹介、大型紙しばいなどを行います。

また、図書館では、読み聞かせボランティア講習会を開催します。

⑦ 学校等との連携・協力

- ・新1年生に対し、小学校を通じて図書利用券を配付し、図書館の利用促進を図ります。
- ・団体貸出及び授業用図書の貸出を行い、学校への配送を実施することで読書活動の一助を担います。
- ・学校からの図書館見学や社会体験チャレンジ事業を積極的に受け入れ、図書館への理解・利用につなげます。
- ・「としょかん読書マラソン」、「中高生 POP コンテスト」を実施します。

・司書教諭^{*4}や図書主任、学校司書^{*2}等への協力・相談に応じ、読書活動に関する情報や資料の提供を行います。

・図書館で登録を抹消したりサイクル図書の児童書を学校等に寄贈します。

⑧ 多様な子どもたちの読書機会の確保

障害のある子どもや、日本語指導を必要とする児童生徒など、多様な子どもたちに読書環境を整えるための資料を整備します。また、多文化に配慮した資料収集に努め、外国語による利用案内の作成などを行います。

また、バリアフリーな資料（大活字本^{*7}、点字付き絵本、LLブック^{*1}など）を集めて紹介する「りんごの棚^{*20}」の設置を進めます。

⑨ 埼玉県立川島ひばりが丘特別支援学校との連携・協力

埼玉県立川島ひばりが丘特別支援学校に在籍する子どもたちの要望に沿った団体貸出を行い、学校への配送を実施することで読書活動の一助を担います。

また、障害の程度に応じた読書活動の取組等について、専門的な立場からの助言をしていただきます。

⑩ 電子図書館の活用

比企1市6町の合同事業で開設した比企広域電子図書館「比企 e ライブラリ」の活用を図ります。また、学校連携により、児童生徒の読書活動推進や、調べ学習への更なる支援につなげます。さらに電子図書館の推進により、家が図書館から遠い子どもの利用を促進していきます。



比企広域電子図書館ホームページ



電子絵本のおはなし会

第4章 読書活動推進のための具体的な取組



「どくしょマラソンカード」



「読書の記録通帳」



図書館ボランティアによる「おはなし会」



団体貸出



団体貸出

(2) 子育て支援総合センター等との連携・協力

【現状と課題】

川島町子育て支援総合センター（かわみんハウス）では、定期的に絵本・紙しばいの読み聞かせなどを実施し、放課後児童クラブ等においては、図書館からの団体貸出を活用しています。また、地域子ども教室などでは、大型紙しばいや、おすすめ本の紹介などを実施しています。

【取組】

① 川島町子育て支援総合センター

川島町子育て支援総合センターは地域の子育て支援の拠点として、子育てをするすべての世代を支援するための複合施設です。子育て支援センター事業として、定期的に絵本や紙しばいの読み聞かせなどを行い、月間行事として、親子教室（絵本、パネルシアター^{*13}など）や、えいごであそぼう（英語の絵本）などを実施しています。関係機関との情報共有を図りながら、読書活動へとつながるための機会を提供します。

② 放課後児童クラブ等

放課後児童クラブは、親が共働きである世帯など、放課後の時間帯に保護者のいない世帯の小学生を対象に、遊びや生活の場として、児童の健全育成を図る施設です。図書館の団体貸出を活用しながら、児童の成長にあった本にふれる機会を充実します。

また、地域の大人と子どもがつながる活動の場所等で、本にふれる機会を推進します。



3 学校等における子ども読書活動の推進

(1) 保育園・幼稚園における子ども読書活動の推進

(就学前の読書に関する特徴の傾向) ～おおむね6歳頃まで～

乳幼児期には、周りの大人から言葉を掛けてもらったり乳幼児なりの言葉を聞いてもらったりしながら言葉を次第に獲得するとともに、絵本や物語を読んでもらうこと等を通じて絵本や物語に興味を示すようになる。さらに様々な体験を通じてイメージや言葉を豊かにしながら、絵本や物語の世界を楽しむようになる。

「子供の読書活動推進に関する有識者会議（文部科学省設置）論点まとめ」（令和4年12月）より

【現状と課題】

読書活動の大切さを理解し、読み聞かせを中心に園ごとに特性を活かした読書活動を積極的に行っています。保育園・幼稚園は、毎日の保育のなかで絵本とふれあう機会をできるだけつくり、子どもたちが読み聞かせをとらして想像力や豊かな心を育むとともに、本との出会いが家庭での読書につながることを期待されます。

各園で揃えられる絵本や紙しばいなどには限りがあるため、一部の園では図書館の団体貸出を利用していますが、新しい蔵書を充実させたり、絵本のスペースを設けるなど、より絵本にふれる機会を増やす必要があります。

また、園の活動に加え、家庭においても親子で本を読むなどして、ふれあいの時間を確保する啓発が必要です。

【取組】

① 読み聞かせの充実

就学前の子どもたちに対する読書活動の働きかけは、読み聞かせが中心であることから、引き続き、日常保育において、読み聞かせなどを楽しむ機会の充実を図ります。年齢にあった選書を行い、必要に応じて図書館の団体貸出を利用しながら、絵本や紙芝居などに親しむ機会を増やします。

② 環境整備の充実

子どもたちが安心して本を楽しめる「絵本スペース」を確保・充実し、自由に手に取れる環境をつくれます。また、家庭への本の貸出など、特色ある読書活動を推進します。

また、園児の図書館訪問などの事業を検討します。

③ 保護者への情報提供・啓発

子どもの読書活動を推進するには、家庭との連携が大切です。「園だより」や、保護者向け講演会の開催などとおして、読書の大切さについて保護者への啓発を行います。保護者に乳幼児期からの読み聞かせの大切さを伝え、成長に応じた絵本の選び方や絵本リスト等の紹介をします。

また、川島町の「ノーテレビ・ノーゲームの日」の実施について周知を図ります。

【特徴ある取組事例】

- ・園児の成長や季節にあった本や、子どもたちの知らない昔話の読み聞かせを行っている。
- ・「えほんのへや」があり、年少・年中・年長向けに分けて絵本を配架している。
- ・週1回、園の本を家庭に持ち帰り、親子で読書を楽しんでもらっている。
- ・保護者向けに、絵本のすばらしさについての講演会を開催している。
- ・お昼寝の時などに、園児が目を閉じておはなしを聞き、想像力を高めるようにしている。



(2) 小学校における子ども読書活動の推進

(小学生の読書に関する特徴の傾向) ～おおむね6歳から12歳頃まで～

低学年では、本の読み聞かせを聞くだけでなく、一人で本を読もうとするようになり、語彙の量が増え、文字で表された場面や情景をイメージするようになる。

中学年になると、最後まで本を読み通すことができる子供とそうでない子供の違いが現れ始める。読み通すことができる子供は、自分の考え方と比較して読むことができるようになるとともに、読む速度が上がり、多くの本を読むようになる。

高学年では、本の選択ができ始め、その良さを味わうことができるようになり、好みの本の傾向が現れるとともに読書の幅が広がり始める一方で、この段階で発達がとどまったり、読書の幅が広がらなくなったりする者が出てくる場合がある。

「子供の読書活動推進に関する有識者会議（文部科学省設置）論点まとめ」（令和4年12月）より

【現状と課題】

小学校は、子どもが生涯にわたって読書に親しみ、読書を楽しむ習慣を形成していく上で、欠くことのできない大きな役割を担っています。各校とも読書の時間の確保や、図書委員の活動、図書室の利用、ボランティアによる読み聞かせ等を工夫しながら、様々な本に触れる機会を設けています。

一方、学習指導要領の改訂に伴い、授業時間数が増加したことから、本に親しむ時間をいかに確保していくかということや図書室の利用促進を図ることなどが課題といえます。

また、学校図書館教育主任（図書主任）と学校司書（学校図書事務）が連携しながら学校図書室の環境整備が進んできましたが、学校司書の配置を含め、より充実させていくことが必要です。

【取組】

① 図書の充実と環境整備

児童に読んでもらいたい図書や人気のある図書、調べ学習などで利活用できる図書の充実を図ります。また、傷んだ本や内容の古い本の更新なども進めます。児童が利用しやすいよう図書の配置や展示の工夫を行い、図書の紹介などにも積極的に取り組みます。

② マイブックバッグ^{*18}を活用した読書の推進

全小学校でマイブックバッグを机の脇に置き、休み時間などに読めるよう本に親しむ機会を工夫しています。さらに本好きな子どもを増やすため、マイブックバッグを活用した取組を引き続き推進します。

③ 図書館との連携

- ・読書の時間や調べ学習授業の充実のため、図書館の団体貸出を利用します。
- ・としょかん読書マラソンを実施し、読書意欲の向上に努めます。
- ・小学校2年生を対象に、地域を知る学習の一環として、図書館見学を実施します。
- ・図書館職員が学校を訪問してブックトーク^{*17}などを行う、学校訪問の実施を検討します。

④ 図書委員の活動の推進

児童の図書委員による読書活動の推進は、図書室の利用促進を進める上で大切です。様々な工夫を図書委員が考えて活動していきます。

⑤ 学校図書館ボランティアによる活動の推進

各学校のボランティアによる読み聞かせを実施し、家庭での読み聞かせの機会が少なくなる高学年においても本にふれる機会をつくれます。新着図書の紹介や、図書室の装飾など、児童が利用しやすい読書環境の整備を推進します。

また、埼玉県立図書館や町立図書館と協力し、学校ボランティア向けの講座などの実施を検討します。

⑥ 保護者への情報提供・啓発

学校だよりや、町立図書館発行のこどもとしょかんだより「がらがらどん」を配付し、おすすめ本の紹介などにより情報発信を行うとともに、読書の大切さについて、保護者への啓発を行います。

また、「ノーテレビ・ノーゲームの日」の実施について周知を図ります。

【特徴ある取組事例】

- ・読書ボランティアの皆さんに、年1回感謝の会で子どもたちからお礼の言葉を贈っている。
- ・空き教室を活用し、気楽に本を読める場所にするため、手作りで改修した。
- ・「図書室へ行こう」のポスターを作成し、各教室へ掲示している。
- ・図書委員の活動として、学年行事で読み聞かせを行った。
- ・学校だよりで、子どもの読書が大切なことの記事を掲載し、保護者への啓発を行った。
- ・読み聞かせボランティアが、図書室に読んだ本のタイトルを貼るなどの展示を行った。



(3) 中学校における子ども読書活動の推進

(中学生の読書に関する特徴の傾向) ～おおむね 12 歳から 15 歳頃まで～

多読の傾向は減少し、共感したり感動したりできる本を選んで読むようになる。自己の将来について考え始めるようになり、読書を将来に役立てようとするようになる。

「子供の読書活動推進に関する有識者会議（文部科学省設置）論点まとめ」（令和4年12月）より

【現状と課題】

「川島町子どもの読書に関するアンケート」において、中学校2年生の不読率が15.3%であり、学校読書調査の24.2%や、埼玉県学力・学習状況調査の23.6%に比べ低い数字となっています。朝活動の時間に読書可能な日を設けたり、昼休みに図書室の開放をしたりする取組を通じて、比較的読書が身近な存在になっていると思われます。

一方、学校図書室に「よく行く」、「たまに行く」の割合は、中学校2年生で45.9%にとどまっています。小学校と同様、本に親しむ時間の確保や、図書室の利用促進をどう図っていくかが課題といえます。また、調べ学習などを充実するためにも、学校司書の配置について検討が必要です。

さらに、川島中学校とつばさ小学校が連携した読書活動の推進が求められます。

【取組】

① 図書の充実と環境整備

生徒に読んでほしい図書や人気のある図書、調べ学習などで利活用できる図書の充実を図ります。また、傷んだ本や内容の古い本の更新なども進めます。生徒が利用しやすいよう図書の配置や展示の工夫を行い、図書の紹介などにも積極的に取り組みます。

② 図書委員の活動の推進

生徒の図書委員による読書活動の推進は、図書室の利用促進を進める上で大切です。様々な工夫を図書委員が考えて活動していきます。

③ 図書館との連携

「中高生 POP コンテスト」、「中学生社会体験チャレンジ事業」などの実施において、図書館と連携し、生徒の読書意欲の向上や、図書室や図書館利用の促進につなげます。

また、ビブリオバトル^{*15}（書評合戦）などの取組について検討します。

④ 学校図書館ボランティアによる活動の推進

新着図書の紹介や、図書室の装飾など、生徒が利用しやすい読書環境の整備を推進します。また、埼玉県立図書館や町立図書館と協力し、ボランティア向けの講座などの実施を検討します。

⑤ 保護者への情報提供・啓発

学校だよりや、町立図書館発行のこどもとしょかんだより「がらがらどん中学生版」を配付し、おすすめ本の紹介などにより情報発信を行うとともに、読書の大切さについて、保護者への啓発を行います。また、「ノーテレビ・ノーゲームの日」の実施について周知を図ります。

【特徴ある取組事例】

- ・図書室に本屋大賞の紹介コーナーを設け、図書室利用の啓発を行った。
- ・学校応援団の活動として、気軽に入りやすい図書室の装飾を行っている。



(4) 高校生における子ども読書活動の推進

(高校生の読書に関する特徴の傾向) ～おおむね 15 歳から 18 歳頃まで～

読書の目的、資料の種類に応じて、適切に読むことができる水準に達し、知的興味に応じ、一層幅広く、多様な読書ができるようになる。

「子供の読書活動推進に関する有識者会議（文部科学省設置）論点まとめ」（令和4年12月）より

【現状と課題】

高校生の不読率は小中学生に比べ高く（令和7年6月学校読書調査において55.7%）、国の計画においても高校生の読書の改善などが主な課題と位置付けられています。

読書をしていない高校生は、中学生までに読書習慣の形成されていない者と、高校生になって読書への関心度が低くなり、本から遠ざかっている者の二者にあると分析されています。大人への過渡期にある高校生が、読書に興味・関心が持てるような取組を行う必要があります。

【取組】

① 図書 の 充 実 と 環 境 整 備

町立図書館では、生徒に読んでもらいたい図書や、人気のある図書の選書を行い、蔵書の充実を図り、ヤングアダルトコーナーを設置します。また、生徒が利用しやすいよう図書の配置や展示を工夫し、図書の紹介なども行います。

また、「埼玉県の高校図書館司書が選んだイチオシ本」の紹介を行います。

② イベント の 充 実

「中高生 POP コンテスト」を引き続き実施し、図書館利用や読書意欲の向上に努めます。そのほかの事業として、ビブリオバトルや図書館イベントへのボランティア参加などについても検討します。

③ 電子図書館 の 普 及 ・ 啓 発

比企広域電子図書館「比企 e ライブラリ」の周知を図り、生徒の読書活動の推進や、調べ学習を支援します。

II 子どもの読書活動の啓発・広報の推進

1 「子ども読書の日」を中心とした啓発

(1) 子ども読書の日、こどもの読書週間

「子ども読書の日」(4月23日)、「こどもの読書週間」(4月23日～5月12日)について、ポスターやチラシ、ホームページ、広報紙、こどもとしょかんだより「がらがらどん」等で周知を行い、子どもの読書のきっかけづくりを進めます。

また、町立図書館がおすすめする本のリスト作成と展示を行い、カプセルトイをまわせるイベントを実施します。

(2) 読書週間

「読書週間」(10月27日～11月9日)について、ポスターやチラシ、ホームページ、広報紙、こどもとしょかんだより「がらがらどん」、協賛行事等で周知し、家庭・地域・学校が一層連携し、子どもの読書意欲を高める機会としていきます。

また、町立図書館や学校図書室へ足を運んでもらうため、町内在住の小学生を対象とした「としょかん読書マラソン」を、読書週間を含めた9月中旬から12月中旬に実施します。

(3) 協賛行事の実施

家庭・地域・学校が子どもの読書活動についての関心と理解を深め、多くの子どもが本に親しむ機会となるよう、関係機関が連携してイベントを実施するなど、協賛行事を充実させます。

2 読書活動に係る情報収集・提供

(1) 研修への参加

保育士会の読み聞かせなどの研修や、図書館職員向けに埼玉県図書館協会などが開催する研修会、埼玉県が実施している研修や講座への参加を通じて、この計画に定める取組を効果的に推進するための知識・技能の習得や情報の収集を行います。

(2) 関係施設間の情報の共有

読書活動に関する新たな取組などの情報を図書館が収集し、関係施設間の共有を推進します。

(3) 読書活動に関する情報の提供

ホームページや広報紙、こどもとしょかんだより「がらがらどん」、関係施設の刊行物等を有効に活用し、子どもと保護者に読書活動に関する情報を提供します。



こどもの読書週間「展示の様子」



こどもの読書週間「カフセルトイ」



こどもとしょかんだより「がらがらどん」

資 料 編

- 1 用語解説
- 2 川島町子どもの読書に関するアンケートの内容
- 3 子どもの読書活動の推進に関する法律
- 4 策定スケジュール
- 5 川島町図書館協議会委員名簿

用語解説

No.	用語	解説	ページ
1	LLブック	スウェーデン語のレットライトの略で「やさしく読みやすい本」を意味する。障害のある人、日本語を母語としない人にもやさしく読めるように工夫されている本。	23
2	学校司書	学校図書館の仕事に携わる事務職員の総称。学校図書館の整備及びサービス職務を担当し、学習活動の支援も行う。	23、28、31
3	子ども1日図書館員	子どもたちが図書館で、本の貸出、返却や本の整理、調べ学習などを体験する。	22
4	司書教諭	「学校図書館法」第5条の規定に基づき、学校図書館の専門的職務に携わる職員で、教員免許状を有し司書教諭講習を修了した教諭をもって充てる。法改正により、平成15年度から12学級以上の学校に配置される。	23
5	セカンドブック	ブックスタートをフォローする事業として、3歳児や就学時などに絵本を配付し、親子で読書に親しむ機会を提供する。	20
6	全国訪問おはなし隊	絵本を積んだキャラバンカーで日本全国を巡り、子どもたちに絵本の読み聞かせや自由閲覧の機会を提供する読書推進活動。	22
7	大活字本	弱視者、高齢者のために、大きな活字で印刷された本。	23
8	団体貸出	学校、保育園、学童保育などの団体に、一定の期間、冊数をまとめて貸出するサービス。	21、22、23、25、26、29
9	地域子ども教室	町内の学校区ごとに3つの教室があり、それぞれコーディネーターを中心に、川島町や各地区の特性を活かした教室を企画・運営している。	22、25
10	中高生POPコンテスト	町内在住・在学の中高生に、POP（本の紹介カード）を作成してもらい、優秀な作品には賞品を贈呈する。	22、24、31、33

No.	用語	解説	ページ
11	としょかん読書マラソン	町内在住小学生を対象に、9月から12月の3か月間、30冊の本を読み終えたら完走とし、読み終えたごとにプレゼントを贈呈する。	22、29、34
12	ノーテレビ・ノーゲームの日	毎月5のつく日に、テレビやゲームに費やす時間を減らし、子どもたちの生活習慣の改善と親子のコミュニケーション促進を目的とした取組。	20、27、29、32
13	パネルシアター	パネルを舞台にして、絵を貼ったり外したりしておはなしを展開する表現方法。	25
14	比企広域電子図書館「比企eライブラリ」	比企広域1市6町が共同で運営する、インターネットを通じて電子書籍を無料で貸出しているサービス。	15、19、23、33
15	ビブリオバトル	お互いがおすすめの本を紹介しあい、どの本が一番読みたくなったかを投票で決める「知的書評合戦」。	31、33
16	ブックスタート	0歳児健診などの機会に、絵本をひらく楽しい「体験」と「絵本」をセットでプレゼントする。	19、20、22
17	ブックトーク	あるひとつのテーマに沿って、読み聞かせ等を交えながら、数冊の本を順序良く紹介する。	29
18	マイブックバッグ	休み時間などに、いつでも読書ができるように本を入れて手元に置くための袋。	29
19	ヤングアダルトコーナー	主に中学生や高校生など、子どもから大人への過渡期にある青少年を対象とした図書を展示したコーナー。	21、33
20	りんごの棚	スウェーデンで始まった特別な配慮を必要とする子どもたちに向けた資料を展示したコーナー。点字図書や布絵本を展示し、個性に合わせた図書などと出逢いやすくし、読書の楽しみを得やすくすることを目的としている。	23

川島町子どもの読書に関するアンケートの内容

※ 回答は LoGo フォームの様式にて実施したため、見た目が異なります。

※ 各学年に合わせ、漢字をひらがなに変換して実施しました。

質問 1 あなたは、本を読むことが好きですか？

- ①好き ②どちらかといえば好き ③どちらかといえば嫌い ④嫌い

質問 2 あなたが小さいとき、家の人や保育園、幼稚園の先生などに本を読んでもらったことがありますか？

- ①よくあった ②ときどきあった ③あまりなかった ④なかった

質問 3 あなたは、9月に何冊の本を読みましたか？

(読みかけの本も1冊に数えます。教科書・マンガ・雑誌は数えません。)

- ①0冊 ②1冊～2冊 ③3～5冊 ④6～9冊 ⑤10冊以上

質問 4 質問3で、「①0冊」を選んだ人は、教えてください。読まなかったのはなぜですか？

(いくつでも)

- ①本が好きではないから ②読みたい本がないから ③勉強・塾などが忙しいから
④テレビ・DVDをみるから ⑤ゲームをするから
⑥ケータイ・スマホ・タブレット・パソコンをするから ⑦友達と遊ぶから
⑧その他 ()

質問5 あなたは、本を読むとき、どこで読むことが多いですか？

- ①自分の家 ②学校 ③図書館 ④その他（ ）

質問6 あなたは、学校の図書室に行きますか？ ※授業で行くのは入れません。

- ①よく行く ②たまに行く ③ほとんど行かない ④行かない

質問7 質問6で「④行かない」を選んだ人は、教えてください。行かないのはなぜですか？

(いくつでも)

- ①本が好きではないから ②読みたい本がないから ③委員会や部活動で忙しいから
④友達と遊ぶから ⑤本は買って読むから ⑥その他（ ）

質問8 あなたは、町の図書館に行きますか？ ※授業で行くのは入れません。

- ①よく行く ②たまに行く ③ほとんど行かない ④行かない

質問9 質問8で「④行かない」を選んだ人は、教えてください。行かないのはなぜですか？

(いくつでも)

- ①本が好きではないから ②読みたい本がないから ③勉強・塾などが忙しいから
④テレビ・DVDをみるから ⑤ゲームをするから
⑥ケータイ・スマホ・タブレット・パソコンをするから ⑦友達と遊ぶから
⑧本は買って読むから ⑨図書館が遠いから ⑩その他（ ）

質問 10 あなたは、本を読むとき、その本をどのようにして手に入れますか？

- ①買う ②学校で借りる ③友だちから借りる ④町の図書館で借りる
⑤家にある本を読む ⑥その他（ ）

質問 11 あなたは、どんな本を読んでいますか？一番よく読む本を1つ選んでください。

- ①物語・小説 ②伝記 ③歴史や地理 ④科学 ⑤料理や手芸
⑥工作 ⑦スポーツ ⑧乗り物 ⑨動物や植物 ⑩絵本 ⑪図鑑
⑩その他（ ）

質問 12 あなたは、これからどんな本を読みたいですか？（いくつでも）

- ①物語・小説 ②伝記 ③歴史や地理 ④科学 ⑤料理や手芸
⑥工作 ⑦スポーツ ⑧乗り物 ⑨動物や植物 ⑩絵本 ⑪図鑑
⑩その他（ ）

質問 13 あなたは、電子書籍（パソコンやタブレット、スマホを使う読書）を読んでいますか？

- ①よく読む ②たまに読む ③ほとんど読まない ④読まない

子どもの読書活動の推進に関する法律

(平成13年12月12日法律第154号)

(目的)

第1条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第2条 子ども（おおむね18歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第3条 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第4条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第5条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第6条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第7条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第8条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第9条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子供読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子供読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

第10条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、4月23日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

第11条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。

策定スケジュール

令和7年度

月 日	会議・作業等	内 容
7月8日	学校と図書館の連絡会	計画策定について説明 協力依頼
7月11日	第1回 図書館協議会	計画策定について説明 協力依頼
8月20日	教育委員会 定例会	図書館協議会への諮問を議決
9月	関係機関との意見交換 アンケート調査(案) 作成	
10月	校長会にてアンケート調査依頼 アンケート 実施・集計	町立小学校2・5年生、中学校2年生を対象にアンケート調査を実施
11月	計画(素案) 作成	
12月18日	臨時 図書館協議会	計画(案)について諮問
2月5日	第2回 図書館協議会	計画(案)について答申
2月25日	教育委員会 定例会	計画(案)を議案提出・議決

川島町図書館協議会委員名簿

(敬称略)

	氏 名	備 考
会 長	小 林 紀 子	学 識 経 験 者
副 会 長	野 口 美 智 子	学 識 経 験 者
委 員	金 子 美 里	学 校 教 育 関 係
委 員	磯 真 砂 子	社 会 教 育 関 係
委 員	佐 藤 宏 美	家 庭 教 育 関 係
委 員	五 十 嵐 美 希	家 庭 教 育 関 係

川島町子ども読書活動推進計画

令和8年2月策定

発 行 川島町教育委員会

編 集 川島町立図書館

〒350-0122 比企郡川島町大字下八ツ林 901

TEL 049-297-6030
